

Q. 村の防火対策の進捗状況は

A. 水路に堰を設け 自然水利確保を検討していく

佐藤峯生 議員

Q

前回3月議会で防火対策について、質問・提案をした時の答弁で「自然水利の確保のために、堰を設けることを考えていること、更にモデル的に地区を選定して事業を行いたい」旨の前の回答をもらいました。ある地区においては早速設置の要望も出ているようです。設置の実現に向けての取り組みについて伺います。

村長

A

防火対策ですが、昨年12月から今年2月の連続した2件の大火を教訓に、村内の消火栓・防火水槽・貯水タンクの位置を把握し、水利が全く確保できない場所や人口が密集している地区でモデル的に水路に堰を設け、自然水利を確保するための検討を進めています。



防火水そうの看板



防火貯水槽のマンホール蓋

関係機関と自然水利確保のための検討会を開催して、問題点等の洗い出しをしました。内容として「計画する水路への農業用排水路の流入をどうするか」「水の流れがないため環境的にどうか」「どのような堰を設け、堰の管理は誰が行うのか」と言った検討課題が浮き彫りになりましたので、継続して検討し、自然水利の確保に努めていきたいと考えています。

人事

農業委員 4名を推薦

7月19日をもって、農業委員の任期が満了となるため、農業に関して学識経験を有する者を議会が推薦するもの。

任期は平成26年7月19日までの3年間です。

◆渡 邊 克 次 氏

(汐 除)

◆鈴 木 義 男 氏

(竹之郷)

◆濱 地 直 紀 氏

(中用水)

◆奥 山 秀 之 氏

(北新政)